

若槻自然遺産候補地見学会(第2回)を行いました

11月16日(日)、「三登山山麓の溜池群と湧水」を対象に、本年度2回目の自然遺産候補地見学会を行いました。

- ①田子池：山麓(吉～若槻東条の間)に点在する溜池(大小13)の中で最大。
- ②田子池神社境内の湧水：明治11年9月明治天皇御巡幸の際の御膳水に供されたとのこと。
- ③鐘撞堂池：土京山と鐘撞堂山の間に築かれ、池の南奥から三登山が望め絶景。
- ④上野大池：吉の弁天池とほぼ同規模で、成分は湯の入りと同じ鉱泉。
- ⑤弁天社の鉱泉湧き出し口(湧水)：三登山中腹の山峠にあり、湧水溝の左から硫黄分を含む鉱泉がこんこんと湧き出していた。(上野大池の水源)
- ⑥山の神池：溜池群の中で最も神秘的で美しいとのこと。納得。



鐘撞堂池(南奥)から三登山を背景に!!

見学後、参加者から「故郷なのに初めて知った」「里山の水の恵みを感じた」など感想があり、部会としても、「見学会を通して皆さんの目と感性で良いものを選んでいただき、後世に伝えていきたい」と考えております。(自然活用部会)

自然観察会と自然遺産候補地見学会(第3回)を行いました

11月22日(土)、昭和の森公園において講師に自然観察インストラクターの羽田收先生をお迎えし、「第3回自然観察会(バードウォッチング)」と「第3回若槻自然遺産候補地見学会」を合同で行いました。

昭和の森は、昭和天皇御在位60周年記念事業・市制90周年事業として、“自然の樹林(森)”を生かして整備された総合公園で、1年を通すと76種類の野鳥が観察できます。



落葉期は野鳥観察のチャンス!!

当日は、ヤマガラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ハクセキレイ、カワラヒワ、日本固有種のアオゲラなど18種類の野鳥を確認できました。園内はケヤキ、クヌギ、クルミなどの落ち葉で満ち、散策路脇にはウバユリ、ヒメアオキ、シダ類、ウメモドキなどが生えていました。

多くの生き物に恵みをもたらし、また生き物から森づくりのお手伝いを受けている昭和の森に目を向け、その自然環境を皆で守っていくという意識を持つことの大切さを考える見学会でもありました。

(自然活用部会)



第41回NAGANOスポーツフェスティバル

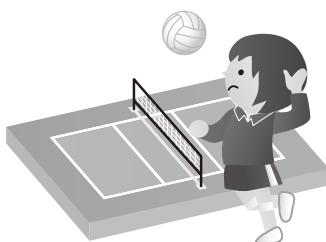
第41回NAGANOスポーツフェスティバル(同 実行委員会主催)のうち、ソフトバレー(地区対抗)大会が、11月16日(日)真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)で市内各地区(地区住民自治協議会単位)から41チームが参加して開催されました。

今大会に若槻地区からは「若槻地区春季スポーツフェスティバル」での上位3チームの他、4チームが参加、全体で7チームが参加しました。

結果は、決勝戦に進出した「若槻Aチーム」(若槻東条)は残念ながら準優勝に、

「若槻Bチーム」(東徳間)と「若槻Dチーム」(上野)による3位決定戦の結果、「若槻Bチーム」が第3位に「若槻Dチーム」が第4位と好成績を収めました。

このほかに残りの4チーム「うわの」(上野)、「若団ダブルソフトの会A」「若団ダブルソフトの会B」(ともに若槻団地)、「若槻Cチーム」(東徳間)も健闘、上位になりました。



(公民館部会)

